

天声人語

20年ほど前、ブッシュ(子)元米大統領の選挙戦を追いかけたことがある。驚いたのは言い間違えのあまりの多さだ。主語なのにsheではなくher。

childrenに複数形のsを付けてチルドレンズ▼就任後もこの癖は収まらず、APEC(アジア太平洋経済協力会議)とOPEC(石油輸出国機構)を混同したこともある。米市民はいちいち目くじらを立てるふうでもなく、むしろ人気を高める方に作用した。テレビはお笑いコーナーで取り上げ、失言を集めた本が売れに売れた▼「募っている」という認識だった。募集しているという認識ではなかった。われらが安倍晋三首相の放った今週のヒットである。大勢の地元支持者が「桜を見る会」に招かれた経緯をただされ、何とも珍妙な見解を披露した▼首相の説明によれば、限られた人に声をかけるのが「募る」。広告を出して不特定多数に呼びかけるのが「募集する」。そんな使い分けは初めて聞いた。募ろうが募集しようが、支持者を優遇したことに変わりはない▼「募る」答弁の直後から、SNSは大いに盛り上がった。「#募ってはいるが募集はしてない」というお題に投稿が続く。「隠しているけど隠蔽じゃない」「手を握ってはいるが握手ではない」。挙げていけばきりがない▼思い出すのは「私は立法院の長ですから」など首相が過去に発した不思議な発言の数々。失言、口の滑りともブッシュ元大統領にはときに追い風になったようだが、さて安倍首相は。